

<分野：高齢者><地区：小平市東部><内容：交流、傾聴、ケアサポート>
ケアタウン小平のボランティア②

いつぶく荘のボランティアについて紹介します

<生活の場所に吹く社会の風>

ケアタウン小平の2階、3階には賃貸住宅『いつぶく荘(21戸)』があります。1階の事業所のサービス、その他の地域にある様々なサービスを利用して、自分らしく暮らしていきたいと望む方が大家さんに家賃を支払い入居しています。

活動は週1回、曜日・時間固定(10:30~14:00)

活動① 見えないけれど、大切な毎日の積み重ね

食堂の清掃／花活けや水替え

／日用品の買い物

／食事の配膳・下膳



活動② 入居者の声を活かして、一緒に楽しみます

先回りして用意するのではなく、生活されている中での入居者の声や気持ちをきっかけに、場をつくり、楽しみます。

「体をちょっと動かしたいなあ」 → 「指ヨガ・体操」

「ちょっと声をだしたいな」 → 「週一回の合唱団活動」

「好きな絵を書きたいけど、1人じゃちょっと」

→ 「絵画グループの結成」

「手仕事しながらおしゃべりしたいわ」

→ 「お茶しながらの手仕事、

時にはトランプ」



活動③「あら、あなたがいるってことは、 今日は、月曜日ね。」

ボランティアさんは日替わりで、でも曜日固定で、活動しています。ときには一緒に食事しながら、年齢による食生活の違いや、郷土料理の話などの話題で盛り上がるなど、ボランティアの存在によって生まれる食事風景もあります。上の言葉のような役割を果たすことだってあります。



<大切にしていることは、ゆっくり関わること>



「必要ならお手伝いできるから言ってください」

「私がお手伝いしてもいいですか」

このような確認を大切にし、相手の意思を待ちます。意思や思いを知ることを積み重ねて生まれる信頼がある、と考えています。

衣食住が足りるだけでは、その人らしさは支えられません。人間は社会的な存在です。基本的な態度は傾聴です。でも丁々発止で話せる相手が欲しい人もいます。また、そんな時もあります。

ゆっくりと、日々と関係を重ね、「いい時間だったわね」、と入居者もボランティアもお互いに共有できるような、いい活動にしてもらえたら幸いです。

<活動までの流れ>



<担当>法人事務局 中川 稔進 (トシブ)



NPO 法人コミュニティケアリンク東京

理事長 山崎章郎

〒187-0012 小平市御幸町 131-5

☎042-321-5985

<http://caretownkodaira.net/npo/>

「ケアタウン小平 NPO」で検索